



休業中の皆さんへ。その3

新緑が眩しい季節になりました。皆さんは春を感じることができていますか？緊急事態宣言が延長され、本来であれば5月7日から学校が再開する予定だったところ、それも叶いませんでした。新年度になって、学校を中心に生活のリズムを作り、ゴールデンウィーク明けからは、学習に部活動にアルバイトに、エンジン全開の時期だったはずで。とても残念です。

これほど長い外出自粛、臨時休業は誰もが初めての経験です。皆さんも、慣れないこの状況でさまざまな不安と戦っていると思います。学校再開やアルバイトの予定にも見通しがもてず、閉塞感に苛まれているかもしれません。テレビやインターネットで聞き慣れないカタカナ語が飛び交い、「よくわからないからまあいいや。」と済ませてしまったり、思考停止になってしまったりすることがあるかもしれません。

しかし、嘆いてばかりいては何も始まりません。幸い時間には余裕があると思いますから、新しいことや普段できないことにチャレンジするもよし、目標を決めて読書をするもよし、将来の展望について腰を落ち着けて熟考してみるもよし。これまでもお伝えしているように、まずは心と身体を整えるために規則正しい生活を心がけましょう。そして、学校再開に向けて学習面での準備を少しずつ、「じっくり」してください。

「規則正しい生活を」 武熊 厚之(1年担任・数学)

休校が長引きこれからも家庭で過ごす時間が多くなりました。毎日、毎日規則正しい生活を送ってください。これからも、課題が送付されますが、1日の目標を決め、1日の生活計画を立てて計画的に進めていくことが大切です。やることもなく、1日が過ぎてしまうのももったいないものです。これからの生活を考えて行動していきましょう。

横田 正幸(2年副担任・地歴公民)

新型コロナウイルスによる臨時休業が5月末まで延長されました。これを書いている5月上旬、茨城県内の新規感染者数は1日あたり0~2名程度。いったん落ち着いてきたかなあ、という感じではありますが、私は先が見えない不安やイラ立ちを感じながら毎日を過ごしています。

みんなはどんな感じで過ごしてますか？バイト先が休業になってしまったという人も多いと思います。かといってどこかに出かけたりもできないし。ヒマを持て余している人も多いかな。ここまでくると、いかに平凡な日常が大切だったかと思い知らされます。今のところ、6月1日から学校再開の予定ですが、1日でも早く「日常」に戻れることを祈るばかりです。最近は「巣ごもり」がキーワードみたいですね。みんなも家でできる何かを見つけて、もう少し辛抱しましょう。

【臨時休業が延長になりました】



(1) 長期休業期間等の一部を授業日に振り替えます

過日お知らせしたとおり、臨時休業が5月31日まで延長されました。6月1日から学校を再開できたとしても、2ヶ月分の授業日数が不足してしまいます。そこで、夏季休業と冬季休業の一部や、9月末に設定していた学期末休業を授業日として振り替えることを予定しています。

詳しくは学校再開後に提示したいと思いますが、アルバイトのシフトなどを組む際に、**夏季休業の期間に授業が入るかもしれないという前提で組む**ようにしてください。

(2) 5月中の課題を2回に分けて郵送します(1回目 5/8, 2回目 5/20 予定)

臨時休業が延長されましたが、いつ授業が再開してもいいように少しずつでも家庭で学習を進めておく必要があります。第2回及び第3回の課題は、教科書等の教材がないとできません。**まだ教科書を取りに来ていない生徒は、早急に持ち帰るようにしてください。**ただし、取りに来る際は、学校に連絡した上で、平日 8:30～16:30 の間に、感染防止対策と安全に十分注意して登校するようお願いいたします。

また、「**自宅学習・勤労の記録**」を課題とあわせて郵送します。規則正しい生活を送り、計画的に学習を進めるために、毎日記入し、次の登校日に担任に提出してください。

なお、皆さんの心身の健康についても、前回の課題発送時にお知らせした「Google フォームによる健康観察調査」への入力をお願いします。



【4月22日は創立記念日でした】

本校の沿革に思いをめぐらせてみましょう。

明治11年(1878)10月1日	茨城師範学校土浦分校設置(藩校郁文館跡にて)
明治12年(1879)4月	茨城師範学校土浦分校廃止
明治16年(1883)8月	茨城第二中学校開設(茨城師範学校土浦分校跡にて)
明治19年(1886)7月28日	茨城第二中学校廃止(中学校令(一県一中学校)により)
明治30年(1897)4月7日	茨城県尋常中学校土浦分校設置(旧土浦城本丸跡の新治郡役所楼上にて)。この年が学校創立年
明治30年(1897)4月22日	茨城県尋常中学校土浦分校の授業開始
明治30年(1897)12月3日	進修会(現生徒会)発会式挙行
明治32年(1899)12月21日	立田町新校舎(現土浦二高)に移転
明治33年(1900)4月1日	茨城県土浦中学校に改称・独立。龍ヶ崎分校(現竜ヶ崎一高)を設置
明治37年(1904)1月1日	校旗捧呈式挙行
明治38年(1905)3月5日	真鍋台新校舎(現在の旧本館)に移転。立田町校舎は土浦高等女学校に。
明治40年(1907)4月22日	創立記念日制定(茨城県尋常中学校土浦分校授業開始日)

明治 40 年(1907)12 月 1 日	創立 10 周年記念式典挙行
明治 42 年(1909)10 月 30 日	校訓制定式挙行(校訓は「至誠・自重・愛敬・剛勇・勤儉」)
明治 44 年(1911) 1 月 1 日	校歌制定(作詞:堀越晋,作曲:尾崎楠馬)
昭和 13 年(1938) 8 月 22 日	プール落成(水上部(短艇部)の廃止)
昭和 21 年(1946)11 月 3 日	校訓制定式挙行(新校訓は「自主・協同・責任」)
昭和 23 年(1948) 4 月 1 日	茨城県立土浦第一高等学校に改称。定時制課程, 通信教育部を併設(全日制 1059 名・定時制 400 名)
昭和 25 年(1950)10 月 30 日	第一応援歌発表会
昭和 29 年(1954)	「一高体操」誕生。進路指導部新設
昭和 30 年(1955)	「進学要覧」創刊(1 冊 10 円で配付)
昭和 32 年(1957) 8 月 12 日	硬式野球部が夏の甲子園大会初出場
昭和 32 年(1957)10 月 27 日	土浦第一高等学校校旗樹立式挙行
昭和 32 年(1957)11 月 2 日	創立 60 周年記念式典挙行
昭和 39 年(1964) 3 月 31 日	通信制課程廃止
昭和 41 年(1966)	第1回「一高祭」(文化祭・体育祭)実施
昭和 44 年(1969) 4 月 1 日	全日制課程理数科設置
昭和 44 年(1969)12 月 3 日	第1回「歩く会」実施(全校マラソン大会の代替)
昭和 51 年(1976) 2 月 3 日	旧本館が国重要文化財指定(旧制中学校舎として日本初)
昭和 53 年(1978) 9 月 19 日	第1回「一高オリンピック」実施(一高祭は文化祭のみに)
昭和 55 年(1980) 3 月 30 日	現本館校舎竣工
昭和 57 年(1982) 2 月 14 日	現正門竣工
平成 8 年(1996) 7 月 15 日	進修学習館(多目的学習館)竣工
平成 9 年(1997) 3 月 15 日	進修記念館(同窓会館兼アリーナ)竣工
平成 9 年(1997)11 月 1 日	創立 100 周年記念式典挙行
平成 10 年(1998)11 月 8 日	定時制課程創立 50 周年記念式典挙行
平成 13 年(2001) 4 月 1 日	全日制課程理数科募集停止
平成 15 年(2003) 1 月 16 日	体育館竣工
平成 29 年(2017)11 月 18 日	創立 120 周年記念式典挙行

一高トリビア

明治 43 年, 全校生徒に校歌作詞の夏休みの宿題が出され, 応募作品の中から, 当時 4 年生(16 歳)で石岡市井関の出身である堀越晋氏の作品が入選, 翌明治 44 年1月1日に校歌が制定されました。堀越氏は, 卒業後, 東北帝国大学医学専門部を卒業して, 宇都宮の病院に勤務しましたが, 大正 6 年(1917 年)に 23 歳で夭逝ようせいしたそうです。

この長い歴史と伝統の上に今があります。この歴史と伝統を受け継いで, 後輩に伝えていくのも皆さんの役目です。

臨時休業中は随時[定時制のホームページ](#)を確認するようにしてください。

